

# くみやま

平成31年(2019年)  
2月1日号

No.  
**153**



## 12月定例会

- 府内町村初！手話言語条例制定へ…………… 2
- 子育て支援など10議員が一般質問…………… 8
- 久御山高校2年生にインタビュー  
議会ってどんなところ?…………… 20
- 目指せ！世界に羽ばたく陶芸家…………… 24

〔表紙写真：初めての体験 直上曲水（出初式）〕

## 3月定例会の予定

- 2月26日（火） 開 会
- 3月 8日（金） 代表質問  
一般質問
- 3月11日（月） 予 備 日
- 3月22日（金） 閉 会

\*日程は変更することがあります。

府内町村  
初!!

# あたたかい手の言葉でつながる心 手話言語条例 制定へ

12月定例会

12月7日~25日

喜びの手話



府内



町(村)



初



条例



うれしい!

## 条例制定

―共生社会の実現―

●あたたかい手の言葉でつながる心  
久御山町手話言語条例の制定

手話に対する理解の促進や手話を普及することで、全ての人がお互いを尊重し、共生することができる地域社会の実現をめざす。

【町の責務】

手話の理解や普及、手話でコミュニケーションを図りやすい環境をつくる。

また、手話による意思疎通が円滑にできるよう、必要な取組みを進めていく。

【町民などの役割】

ろう者と手話でコミュニケーションを図ることで、誰もが暮らしやすい地域社会になるように努める。

12月定例会は、町長提案の条例制定や補正予算など14件の議案があり、常任委員会で各所管事項の議案を審議しました。

採決の結果、すべて原案どおり可決されました。

そのほか、9月定例会で決算特別委員会に審査を付託された平成29年度各会計決算7件は、すべて認定されました。

一般質問では、10人の議員が町政の各課題について質問しました。

\* 決算認定はP4をご覧ください。

【条例制定までの流れ】

手話は、ろう者の方にとっては、大切な情報獲得と、コミュニケーションには欠かすことのできない言語である。

久御山町議会では、手話言語法制定を求める意見書を、平成26年12月本会議で全会一致で可決し、国に意見書を提出した。

全国の議会でも意見書提出が進み、平成28年3月には、全自治体議会で意見書採択が100%となった。

手話言語条例は、平成25年の鳥取県を皮切りに全国に広まり、今回、本町は京都府下町村初の条例制定となった。

今後は、町内で手話の普及が広まり、手話に関する教育や学習機会の振興、環境整備が進むことを大いに期待する。



## 指定管理者の指定

### ●文化・スポーツ施設（8施設）

中央公民館、ゆうホール、総合体育館、町民プール、町民プール庭球場、木津川河川敷運動広場、中央公園野球場、中央公園庭球場

管理先  
久御山町文化スポーツ事業団  
指定期間  
2019年度から5年間

## 選挙管理委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴い、定例会で次の方が当選されました。任期は平成30年12月24日から4年間。

### ●選挙管理委員

塩屋 千鶴 氏（佐古）  
曾束 正義 氏（下津屋）  
西岡 富子 氏（市田）  
土尾 正晴 氏（森）

### ●選挙管理委員補充員

岡本 京子 氏（佐山）  
岡井 文彦 氏（坊之池）  
中瀬 哲夫 氏（栄）  
山田 清文 氏（東一口）

## 補正予算

### 〔一般会計〕

#### ◆被災農業者への復興事業

7125万円

国の補助金を活用した事業。  
台風21号により被害を受けた鉄骨ハウス、茶工場、農業用倉庫の復旧などを対象にした復興支援。



#### ◆町民プールの施設改修

1229万円

台風21号の被害による、町民プール北側の日よけテントの倒壊、テントの張り替え、フェンスの修繕など改修に伴う費用。  
今年の夏までに改修予定。



#### ◆木津川河川敷グラウンド野球場の施設改修

232万円

台風被害で使用ができなくなっている野球場の修復に伴う費用。  
球技場は、既存の予算で改修済み。

#### ◆障害児の通所給付費

604万円

障害児の放課後等デイサービス事業で、利用人数の増加に伴う費用。

### 平成30年度補正予算

\*万円未満四捨五入

区分	補正額	補正後の額	
一般会計（第7号・第8号）	1億2744万円	74億9178万円	
特別会計（第2号）	三郷山財産区	258万円	911万円
	介護保険	277万円	14億3869万円
水道事業会計（第2号・第3号）	収益的収入	23万円	5億3001万円
	収益的支出	282万円	5億7771万円
下水道事業会計（第2号・第3号）	収益的支出	21万円	7億7555万円



放課後等デイサービス（八幡市内）

# 平成29年度決算 住民のいのちを守る 防災行政 無線設置へ

同報系



決算特別委員会の総括審査(10月29日)

## ■平成29年度会計決算額

区分	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	79億5391万円	77億2653万円	2億2738万円	
特別 会計	国民健康保険	25億4107万円	25億1553万円	2554万円
	三郷山財産区	458万円	426万円	32万円
	介護保険	13億4535万円	12億7205万円	7330万円
	後期高齢者医療	2億1834万円	2億682万円	1152万円
水道事業会計(収益的収支)	5億5357万円	5億4926万円	431万円	
下水道事業会計(収益的収支)	8億2252万円	7億5807万円	6445万円	

\*万円未満四捨五入

平成29年度の一般会計など7会計が、決算特別委員会(岩田芳一委員長)に付託されました。委員会では現地視察を含め、延べ6日間にわたる審査をおこなひ、10月29日の委員会採決ではすべて認定すべきものとなりました。その後、12月定例会で委員長から報告があり、採決の結果、いずれの会計も認定となりました。

## 総括審査での主な質疑

**Q** 29年度決算の中で、町長が目指した町政運営や施策を、どのように評価しているのか。

**A** こども園や中学校給食室の建設など、多額の費用を要する中で予算総額は増加したが、住民負担軽減策を維持しながら、黒字となった。一定の結果は出せたと考えている。

**Q** 住民票の写しや印鑑証明書など交付場所の拡充の考えは。利便性の面からもコンビニ交付を検討したい。

**A** 費用や導入時期も踏まえ、総合的に判断していく。

**Q** 毎年、木津川河川敷グラウンドが冠水で使えない状況がみられる。

**A** 代替施設をつくる考えは。修復をして使用していくが、昨今の災害をみると、代替施設の検討も必要。今後は、中央公園の整備も含めて考えていきたい。

**反対**

異 悦子 議員

**子育て医療の拡充など  
8項目の改善を**

総括的には国・府との協調、行政の外部委託の推進・継続。非正規雇用の職員補充、税滞納者の地方税機構への移管の中止、敬老祝金の復活、子育て医療の高校卒業までの拡充、中小企業振興条例と公契約条例を策定することなど8項目を指摘し、改善を求める。

**賛成**

島 宏樹 議員

**住民サービスを低下  
させず各種施策を堅持**

厳しい財政状況の中、町独自の各種住民負担軽減策を維持し、子育て支援施策の推進、健康づくりや福祉事業の実施、都市計画の推進、教育・学習環境の充実など限られた財源の中、住民サービスを低下させない各種施策が堅持されており、決算内容を評価する。

**反対**

中野ますみ 議員

**多子世帯の均等割  
減免求める**

国保は社会保障制度。よって「払える」保険税額とし、保険証の留め置きはやめ、本人に届けること。  
町長公約で「多子世帯奨励金の支給」を表明。多子世帯への均等割の減免と安心して医療が受けられるよう、一般会計からの繰り入れを求める。

**賛成**

田口浩嗣 議員

**府内トップの財政支援  
保険税負担の抑制**

平成29年度は国保税の負担急増が懸念されたが、国保加入者の負担を抑えるため、町独自の支援として、一般会計から3500万円あまりが繰り入れられた。  
財源も大変厳しい中、京都府内トップクラスの財政支援は評価できる。

**全議案の採決結果**

**賛否が分かれた議案**

○=賛成 ×=反対

(注) 表中の○及び×(太字)は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案 / 議員	公明党	共産党		緑風会		くみやま みらい			政策 研究会			結果			
	岩田芳一	中野ますみ	異悦子	塚本五三藏	田口浩嗣	信貴恵太	松本義裕	林吉一	内田孝司	島宏樹	松尾憲		中大介	中井孝紀	
29年度 決算	一般会計	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計〈事業勘定〉	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	指定管理者の指定〈文化・スポーツ施設の管理〉	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※戸川議長は賛否同数以外は採決には加わりません。

**全員賛成で可決した議案等**

29年度 決算	三郷山財産区特別会計
	下水道事業会計
30年度 補正予算	一般会計(第7号)・(第8号)
	三郷山財産区特別会計(第2号)
	介護保険特別会計(第2号)
	水道事業会計(第2号)・(第3号)
	下水道事業会計(第2号)・(第3号)

規約	市町村職員退職手当組合理約の変更
条例	手話言語条例制定
	町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正
	町常勤の特別職の給与に関する条例一部改正
	町職員の給与に関する条例一部改正



# 総務事業常任委員会・協議会レポート

常任委員会では、12月13日に各担当課の説明をうけて、審議をおこないました。主な質疑応答を報告します。

## 雙栗神社の修繕補助は

Q

大阪北部地震で被害をうけた雙栗神社の北側ブロック塀を玉垣に整備するにあたり、地元負担に対する三郷山財産区の補助割合は。

A

修繕費用の総額は594万円、町や京都府の補助金300万円程度を差し引いた金額の7割を、財産区から補助する。

## 農業者への復興支援 その現状は

Q

台風21号被害による農業者への復興支援の申請件数は。

A

国補助で新たに対象となった申請件数では、鉄骨ハウス16件、農業用倉庫5件、茶工場1件となる。

## 木津川河川敷野球場の 復旧予定は

Q

台風による冠水により、木津川河川敷野球場が使用できない状況だが、今後の復旧予定は。

A

流出した野球場の土を入れるなどの補修をおこなう。復旧は、今年3月末の予定となる。



地震被害で亀裂が生じたブロック塀(雙栗神社)

### 閉会中の事務調査

### 内容：台風被害による農業者支援 実施日：11月9日

委員会では、台風で大きな被害を受けた農業者の現状や支援内容を調査した。

国は復旧対策として、新たに被災農業者への支援事業を決定した。今後も復旧状況などを含め、動向に注視したい。

#### 農業被害の状況（9月30日現在）

農業被害は、パイプハウス225棟、鉄骨ハウス33棟、農業用倉庫23棟、茶工場2棟、農産物のネギやコマツナなど、被害総額を3億4673万円と見込んでいる。



## 台風による被災農業者に 国の支援が決定される

### 農業者への復旧対策事業

#### 【パイプハウス災害復旧事業】

台風被害の復旧対策として、パイプハウスと附帯施設の復旧・撤去に要する経費。ビニール被覆資材購入費や鉄骨ハウスなどの修復への補助。

- ・全壊・大…対象経費の3/4以内補助（国・府合わせて1/2、町1/4）
- ・中破…対象経費の6/10以内補助（国・府合わせて1/2、町1/10）

なお、農業共済加入者は、さらに国の農業共済金と合わせて補助される。

#### 【農業者等復旧応援事業】

町在住の販売農家に、農業用資材や器具の購入、機械の修繕費用を補助する。

#### 【廃棄ビニール処分費補助】

町在住農業者に、破損したハウス用ビニールの処分費用を補助する。

# 民生教育常任委員会・協議会レポート

常任委員会では、12月14日に各担当課の説明をうけて、審議をおこないました。主な質疑応答を報告します。

## 移動困難者の福祉施策 その後の進捗状況は

＊閉会中の事務調査に続いての報告。調査内容は下段を参照ください。

**Q** 移動困難者の利用で、1人あたりの利用回数に制限は設けなくてよいのか。利用が増えずに制度が続かないようなことになる心配はないのか。

**A** のってこタクシーと同じように、利用回数の制限は考えていない。

利用額が増えることがあれば、補正予算で対応したい。今後、改善しながら、示していきたい。

**Q** 移動困難者の利用想定数は、105名を想定している。

**A** 11月時点からの追加事項

- ・名称をのってこタクシーと区別
- ・利用料金は乗車あたり200円
- ・事業開始は2019年5月を予定



放課後等ディサービス(京田辺市内)

## 放課後等ディサービス 事業の利用状況は

**Q** 障害児放課後等ディサービス事業の増額は、利用人数の増加によるものか。その状況は。

**A** 利用人数も増えているが、利用件数が、当初33件から37件となり、増加している。人数と利用時間で積算額が変わるので、利用時間も含めて1件とカウントしている。

### 内容：のってこタクシーに係る福祉的施策 実施日：11月5日

### 閉会中の事務調査

#### 移動困難者への福祉的な支援

昨年5月の委員会では、障害者など移動困難者に対し、新たな移動手段の確保が求められていることがわかった。

今回は、将来的に本町がどのような支援を考えているのかなど、11月時点での協議結果について調査をおこなった。

町は、今後も詳細の協議を進め、制度の導入をめざす。



のってこタクシーとは、町内の決められた停留所間を走る事前予約型乗合いタクシー。

## 新たな移動支援さぐる 障害者や子育て世帯への

#### のってこタクシーを活用した制度

既存の“のってこタクシー”を活用した福祉的な取組み。実施期間は、2019年度から2年間を予定しており、地域福祉計画の改定に合わせて見直しをおこなう。

#### 【対象者】

- ・要支援・要介護1～2認定者、65歳以上の移動困難で民生委員の認める者
  - ・妊産婦や療育教室に通う保護者
  - ・自動車運転免許証の自主返納者
  - ・身体・療育・精神障害の手帳所持者など
- のってこタクシーは、停留所間の移動制限があるが、本施策は制限を設けない。一方、福祉施策の重複をさけるため、利用料の支払いに福祉タクシー利用券は使えない点や、利用料の設定が妥当のかなど、今後も協議をおこなう必要性があらかになった。

# 一般質問

10議員が登壇

一般質問では、行政全般について執行機関（町長など）の考え方や疑義を質問します。今回は、10人の議員が登壇しました。

ここが聞きたい

質問者	質問項目〔質問方法〕	ページ
松本 義裕 議員	①子どもの放課後居場所づくり ②子育て支援医療費助成事業 ③就園援助等の支援 <span style="float: right;">一問一答</span>	P9
信貴 恵太 議員	①東西道路の渋滞 ②本町の魅力発信 <span style="float: right;">一括質問</span>	P10
田口 浩嗣 議員	①公共交通とまちの展望 ②環境整備 ③インフルエンザ補助事業 <span style="float: right;">一問一答</span>	P11
林 吉一 議員	①農業被害の対策状況と今後の農業振興 ②通学路における安全対策 <span style="float: right;">一括質問</span>	P12
内田 孝司 議員	①防災 ②消防の広域化 <span style="float: right;">一括質問</span>	P13
島 宏樹 議員	①水道事業の運営 ②防災拠点・避難所の環境整備 <span style="float: right;">一問一答</span>	P14
中野ますみ 議員	①消費税増税 ②防犯対策 <span style="float: right;">一括質問</span>	P15
中井 孝紀 議員	①とうずみ・みまきこども園の施設整備 ②中学校校舎の外壁タイルはく離問題 <span style="float: right;">一問一答</span>	P16
松尾 憲 議員	①良質な水の安定供給 ②公共交通網形成計画の進捗 <span style="float: right;">一問一答</span>	P17
巽 悦子 議員	①子育て支援策 ②消防職員数 ③地域公共交通 <span style="float: right;">一問一答</span>	P18

**一括質問** 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。

**一問一答** 一つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。議員の質問時間は30分以内。

## 定例会の映像配信

久御山町議会ホームページからライブ中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会





松本 義裕 議員

一問一答方式

**Q** 高校生までの医療費助成を公約としているが

**A** 財政状況と国の制度改革も踏まえながら対応する

**質問**  
子育て支援医療費助成事業の内容は。

**国保健康課長**  
医療費は、医療機関ごとに月200円で、残りを公費助成。平成29年度実績で、利用件数2万3251件、町負担額約5010万円。

**質問**  
通院を18歳まで拡充すれば、どれくらいの費用が発生するのか。町長も高校生までの医療費助成

を公約として掲げているが。

**国保健康課長**

医療費の基礎数値を用いて積算すると年間約1100万円。

**町長**

今後の拡充については、財政状況及び国の医療保険制度改革なども踏まえながら対応する。

**Q** こども園入園準備にかかる費用への支援は

**A** 支援策について調査・研究する

**質問**

国の幼児教育などの無償化に向けた取り組みや現状は。

**子育て支援課長**

公立・私立のこども園などを利用する3〜5歳児の全ての子どもの保育料と、0〜2歳児の住民税非課税世帯の子どもの保育料などで、幼稚園保育料は上限2万5700円までが無償とする方向で調

整されている。

**質問**

保育料の無償化は入園準備にかかる費用への支援ではない。こども園入園時に、どういった物が必要で費用はどれくらいか。そういった支援は。

**子育て支援課長**

道具箱などの用品代、クレパスなどの教材・保育材料代、体操服代など、約1万円を徴収。

国などの動向を注視し、支援策について、調査・研究していく。

**Q** 放課後等デイサービスの誘致が必要では

**A** 利用者に不安を抱かせないよう努める

**質問**

仲よし学級の状況や対象者は。

また、専門の先生を配置し、今以上の施設を充実させれば、他市町村の放課後等デイサービスに通所している子どもたちの受け入れが

でき、遠くの施設に通所している子どもたちの負担も軽減されるが。

**社会教育課長**

3小学校区内で5クラス運営。対象は、1〜6年生までの167名の児童が通級している。

放課後、保育が見込めない児童に対し、安心かつ安全な居場所を提供するということが主たる目的で、放課後等デイサービス事業とは設置目的が異なる。

**質問**

放課後等デイサービスの誘致が必要では。

**住民福祉課長**

サービス必要量が増え、受け入れ先の不足が生じ、利用者に不安を抱かせないよう努める。



仲よし学級 (佐山小)



信貴 恵太 議員

一括質問方式

Q 東西道路の渋滞対策は

A 他市町と連携しながら渋滞緩和を図りたい

質問

東西道路の渋滞の解消は、必須の問題だが、何か対策は考えているのか。

事業建設部長

1つ目は、府道八幡宇治線と第二京阪道路の交差点における、西側右折レーンの設置及び国道1号交差点の拡幅整備。

2つ目は、府道八幡宇治線のバイパス機能を持った、新たな東西の道路の整備。

3つ目には、みなくるタウンの



渋滞した道路（宇治淀線）

質問

八幡宇治線は、府に要望をおこなっていることはわかったが、宇治淀線についての渋滞対策は。以前、木津川堤防から城陽市に道路を通す計画を求めてきたが、実現の可能性は。

ゾーン内の東西道路の整備を計画している。  
現在、町道市田佐山線の拡幅に向けた測量作業に取りかかっている。  
将来、第2京阪道路の側道と国道24号が結ばれるということになり、東西の渋滞緩和にも一定の効果があるものと考えている。

事業建設部長

木津川堤防を抜ける東西道路の整備については、住民の意識もさまざまである。  
町の判断だけでは解決できない多くの課題があるというふうに考えている。  
他市町と密に連携しながら、東西の渋滞緩和を図っていきたい。

Q 久御山夢タワー137への町長の思いは

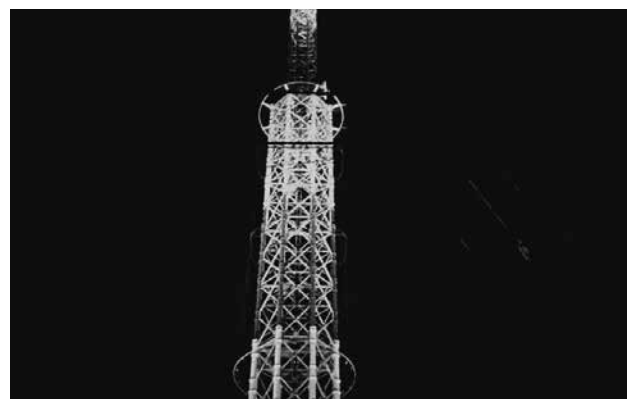
A 夢多き発展の時代となるよう期待している

質問

財政という側面から考えると、本年のような災害が続いた場合、実施時期は十分に検討する必要があるが「久御山夢タワー137」への応援の声や協力したいという声もよく耳にする。

「久御山夢タワー137」は、どのような効果を生み出し、町の発展にどのようにつながっていくのか。

町長の思いは。



久御山夢タワー137 (KBS京都ラジオ塔)

町長

ライトアップ実施に当たって、住民や事業所の方々が楽しめる内容の点灯式や、それを含むイベントをおこない、町制施行65周年を盛り上げたいと考える。

平成31年度においては、新たに元号も変わる新しい時代の幕開けと、町制施行65周年が一致することとなる。

夢多き発展の時代となるよう期待を込めて、今後、「久御山夢タワー137」のライトアップをはじめとする、さまざまな事業に取り組んでいきたい。





田口 浩嗣 議員

一問一答方式

**Q** 自動運転の実証実験に向けプロジェクトを早急に

**A** 町と企業の技術連携で積極的に進めていきたい

質問

久御山町の平坦でコンパクトな立地は、バス自動運転の実証実験に向いている。これを生かし実証実験を進めるには。

事業建設部担当部長

都市部で実証実験の運行が始まっている。流れに乗り遅れないよう国や府など関係機関との連携強化を図り、情報収集に努める。

質問

滋賀県大津市は、京阪バスと提

携し実験を開始した。また、群馬県前橋市は、大学と企業との連携を図り、駅前から路線バスを運賃100円で自動運行する全国初の実証実験を開始。

本町も優れた企業との共同で実施に向けたプロジェクトチームを早急に立ち上げ、実現に向け動いては。

事業建設部担当部長

町内の企業との連携は重要である。町と企業の技術連携で、町として積極的にタッグを組んで進めていきたいと考えている。

質問

町内企業の人材確保には、快適な通勤を考え整備が必要と考える。今後のバス停留所の環境整備は。

新市街地整備室長

ふるさと納税制度などを活用したバス停の環境整備の推進や、停留所などを調査・精査し、必要な整備を進めていく。

質問

町長は、平成28年度から10年間のまちづくりの指針を示し、第5

次総合計画で地方創生にかかる総合戦略の具現化に取り組んでいる。公共交通と一体となった「まちづくり」の今後の展望は。

町長

土地利用や公共施設の活用整備と、それらを結ぶ公共交通ネットワークを車の両輪とし、実現していきたい。

**Q** ごみステーションにごみボックスの設置は

**A** 現場で支障がないと確認できれば設置できる

質問

鳥や猫は餌を求め、ごみステーションを荒らすので住民は困っている。ごみボックスの設置はできるのか。また、その補助は。

環境保全課長

現場で支障がないと確認できれば、ごみステーションに設置することができ。補助率は、他市町の例で2分の1程度、上限額を設けており、参考にしている。



散乱するゴミ置き場

**Q** インフルエンザ町内の感染対策は

**A** 予防につながる取組みを強化していく

質問

インフルエンザの感染対策として、手を消毒するために映画のシーンを使うアイデアがテレビで紹介された。それで感染者が減少できるのでは。町内の感染対策は。

国保健康課長

提案の「真実の口」の取組みは、手の消毒を促すための一例として効果がある。

意識して消毒してもらえないような予防につながる取組みを強化していく。



林 吉一 議員

一括質問方式

Q どのような思いで農業振興に取り組んでいくのか

A がんばる農業者への新たな支援を打ち出していく

質問

連続して発生した台風による農業被害に対する支援と、その対応は。

産業課長

国においては被災農業者向けの支援事業（経営体育成支援事業）の実施が決定し、京都府事業では補助対象外であった鉄骨ハウスや農業倉庫、茶工場、ビニール被覆資材が新たに補助対象となった。加えて撤去費用の上限額もアップするなど支援を拡大し、また、パ

イブハウス災害復旧事業の申請期限を延長し、受付をおこなう。



復旧されたパイプハウス

質問

これからの久御山町の農業に対し、どのような思いで農業振興に取り組んでいくのか。

町長

災害に対して、初めて町費の支出を決定し、府事業に上乘せ補助をおこなった復旧支援、また、産業売込み隊として野菜の販売促進、町産の酒米を使った酒造りなどに取り組んでいる。

今年度からは、農業経営者会議を実施し、毎回、京都を代表する農業経営者を講師に招き、若手農業者や中核担い手の育成に努めている。

魅力とやりがいのある農業経営

を目指す農業者の次のステップとして、先進地事例研究などに取り組み、がんばる農業者への新たな支援を打ち出していく。

Q 通学路の交通安全プログラムの活用は

A 関係機関と連携して交通対策を講じている

質問

通学路の環境を整えるため、通学路安全推進会議が、通学路の危険箇所を<sup>かしょ</sup>確認し、改善や充実を図っている。通学路の定義と通学路交通安全プログラムの活用は。

学校教育課長

通学路とは、集合場所や合流地点から学校までの道路の区間を指し、学校とPTAが協議の上、決



啓発看板

定している。

プログラムの取組みの基本的な考えは、継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続して実施し、対策の改善・充実を図るもの。

危険箇所にもとづき、対策個所一覧表を作成し、毎年推進会議による合同点検と対策の検討をおこない、関係機関と連携して交通対策を講じている。

質問

これまでプログラムで抽出した個所数と対応済みの個所数は。また今後の対策は。

学校教育課長

59カ所を抽出し、28カ所は対策済みとなる。今後ともこのプログラムの推進を通じて通学路の安全対策について一層の推進を図る。

事業建設部長

道路上の外側線や「スピード落とせ」などの路面標示は、計画的に引き直すなど、安全確保に努める。また、横断歩道や「止まれ」など、規制関係の路面標示は、公安委員会に要望する。





内田 孝司 議員

一括質問方式

Q 被災された住居などに  
支援が必要では

A 住宅被災者への見舞金支給  
など制度化に向け考える

質問

台風21号では、一般住居で、屋根瓦のずれや、飛散など甚大な被害を受けた。修理費についても、被害の大きさによっては、莫大な出費になる可能性があり、高齢者世帯では死活問題になりかねない。困っている住民の方に、何か経済的支援は考えられないのか。

総務課長

国の被災者生活再建支援制度があるが、本町の被害は制度の基準に該当しないため、適用できない。

質問

災害により被災された住居などに町独自の負担軽減の支援が必要。町には、火災見舞金の制度がある。同様に、災害を受けた住宅への手立てはできないのか。

町長

本町では、火災等により被害を受けた方々に、最大で10万円の見舞金を支出している。

今後、大きな災害を受けた方の負担軽減につながるよう、この火災見舞金制度を参考に検討を加え、住宅被災者への見舞金支給等の制度化に向けて考える。



被災して修理を待つ住居

質問

総合防災訓練での防災行政無線の試験放送の聞こえ方アンケートの結果では、屋内では、全体の約56%のしか音声の認識ができていない。

緊急情報を住民に正確に伝えることが最重要で、音声を確認できるレベルまで上げる必要があるが。

総務課長

4月の本格運用に向け、スピーカーの向き、角度など機器調整し、改めて試験放送により検証する。

総務部長

全ての地域で呼びかけが認知できるレベルまでは必要と考え、今後、十分に調整する。

Q 消防広域化推進に  
向けての考えは

A 府の指導を受けながら  
よりよい方向性を定めていく

質問

町長の選挙公約で掲げている消

防の広域化推進に向けての考えは。

消防長

京都府に対し、府の推進計画に消防広域化の方針の盛り込みを要請し、広域化の実現に向け関係市と協議を進める。

町長

広域化の効果は、今以上の複数台による消防車両の出勤が可能で、初動の消火力の強化、人員配備の効率化と充実、高度な消防設備や施設整備など、消防体制の基盤強化が図れる。

消防広域化は、京都府の指導も受け、近隣市町と連携する中で、よりよい方向性を定めていく。



町消防庁舎



島 宏樹 議員

一問一答方式

Q 水道料金のあり方は

A 改定はやむを得ない

質問

本町の水道事業は、昭和43年に始まり50年が経過した。水道施設、給水管路の耐震化、及び老朽化の現状は。

上下水道課長

配水管の総延長は約107km、耐用年数の40年を経過した配水管が18・9kmで17・6%。施設は浄水場の耐震化率100%、重要給水管路は51・8%。

質問

今後40年、現状維持する上水道耐震化などの未更新部分はいくら必要か。

また、使用水量が減少し財政的に厳しいが、実際の給水収益は。

上下水道課長

費用の試算では70億円が必要。平成19年度の給水収益で4億4600万円、平成29年度は3億9300万円、平成29年度は3億9300万円、平成29年度は3億9300万円で11・9%減少した。

質問

過去の水道料金改定の推移は。

上下水道課長

平成5年に20%、平成11年に19%に値上げし、平成13年に6・7%の値下げし、現在に至る。京都府内では5番目に低い料金。

質問

近隣市町村の料金改定の状況は。

上下水道課長

宇治市が平成28年4月に14・4%、八幡市が平成30年4月に16・7%の値上げをした。城陽市は来年4月から23%の値

上げの条例改正議案が提出された。

質問

水道事業検討委員会を立ち上げたが、その大きな目的は。

上下水道課長

中長期的な経営戦略の策定に向け取り組んでいる。

質問

今後、水道料金のあり方をどのように考えているか。

町長

府営水道の値上げや給水収益の減収で、施設の更新等に多大な費用が必要。

健全な水道事業を推進していくためには、水道料金の改定はやむを得ないと考える。

Q 公衆無線LAN

WiFiの整備としては

A 前向きに検討するべきと考える

質問

防災拠点の役場庁舎や避難所が停電時、非常用電力の供給体制は。

総務課長

役場庁舎、消防庁舎、ゆうホールは自家発電設備がある。

避難所は、各小学校に5台ずつポータブル発電機がある。久御山中学校は、太陽光発電による蓄電池と発電機が3台がある。

質問

避難所の環境整備として、通信環境の公衆無線LAN、WiFiの整備をしては。

町長

WiFiは財源も含め、軽減ができれば、環境整備を前向きに検討するべきと考える。



老朽管の敷設替え





中野ますみ 議員

一括質問方式

Q 消費税増税中止の  
表明をするべきでは

A 社会保障の増大が課題  
増税は必要

質問

平成31年10月消費税率が10%に引き上げられる。政府は社会保障のためと言うが、増税により国民の負担が増えて医療や介護が受けられないと国民から悲鳴があがっている。

従業員5人以下の事業所を組織する民主商工会の調査では、8%に増税された時も売り上げが減少し、利益が減ったと悪影響が顕著に示されている。

町民の代表である町長が、国に対し消費税増税中止の表明をする

べきでは。

町長

社会保障費は年々増大しておりその財源として税率が10%に引き上げられるもの。税率8%へ引き上げ以降、家計消費は4年連続で減少している。

今回は、幼児教育の無償化、高等教育の負担軽減などに回す方針も示している。社会保障の増大に対応してどのようにするのが大きな課題であり、増税は必要である。



軽減税率による区分は

質問

消費税10%の増税と共に軽減税率8%を導入しようとしている。

飲食店の持ち帰りや飲食料品、週2回以上発行の定期購読新聞は8%、店内で食べれば10%。

税率区分をしなければならぬ小売店、飲食店へのフォローは。

税務課長

特に飲食料品を扱っている店舗では混乱も予想される。レジや受発注システムの改修、入れ替えなど、国の補助金制度もある。

本町は、国税当局の依頼にもとづき、町ホームページや広報誌に周知の記事を掲載している。

質問

平成35年10月1日から導入のインボイス（適格請求書）発行は、消費税の課税業者に限られ、取引先から排除されると聞く。無理な消費税の課税業者になり、消費税滞納者となりえる。免税事業者を守る対策は。

総務部長

免税事業者の取引が懸念される声もあるが、今後、検証がおこな

われるということであるので、国の動向を見守りたい。

Q 不審者による被害が多発  
その対策は

A 防犯パトロール・防犯カメラ  
設置など実施している

質問

不審者が女性や高齢者、子どもにまで精神的苦痛を与える被害が多発発生している。

このような状況をいかに対策しているのか。

総務課長

今年度は変質者によるわいせつな事犯が最も多い。

対策では、小学校毎に結成している安全見守り隊、関係者による防犯パトロール、防犯カメラの設置など犯罪抑止の活動を実施している。

各団体との情報交換で、安心・安全のまちづくりに取り組む。



中井 孝紀 議員

一問一答方式

Q とうずみこども園の  
施設整備の方針は

A 東角小学校の駐車場を  
取り込み整備する

質問  
とうずみ・みまきこども園は、  
本園と分園に分かれた運営となっ  
ているため、保護者からは2カ所  
送迎の問題など早急な改善を求め  
られている。町も一体的運営を目  
指した施設整備の計画を進めてい  
るが、設計段階から想定される課  
題を整理し、ベストな選択が必要  
となる。

課題としては、敷地の拡張、グ  
ラウンドの整備、送迎用駐車場の  
確保、小学校のプールや給食室の  
有効活用などだが、検討状況は。

学校教育課長

とうずみこども園は、東角小学  
校の駐車場を取り込み形で保育室  
3室を増築し、送迎用駐車場や、  
0～2歳児用の給食室を敷地内で  
整備する。3～5歳児の給食は東  
角小学校から運ぶ計画。

小学校の低学年用プールや、芝  
生もある広いグラウンドの共有を  
考えており、保護者の観点も取り  
入れるため懇談もしている。

みまきこども園も同じ内容が必  
要との認識で検討課題を整理し、  
平成32年度に実施設計に入りたい。



こども園敷地に拡充される小学校の駐車場

質問

就学前の教育が重要な中で、こ  
ども園の一体的な整備に対するコ  
ンセプトは。

教育長

幼児期にふさわしい主体的な活  
動を促し、遊びを通じた中で学び  
を支え合える場として、非認知能  
力の育成などの視点を含めた施設  
整備をおこないたい。

Q 中学校校舎の  
施工不良への対応は

A 3876万円の請求を  
仲裁申請している

質問  
中学校南校舎は、平成21年に6  
億円で新築したが、外壁タイル  
がはがれたために全面を調査し、  
91%のタイルに浮きを発見した。  
町は施工不良の業者へ補修費用  
の請求をしたが、支払いを拒否し  
たために仲裁申請をしている。  
今日までの経過と現状は。

学校教育課長

仲裁申請の提出は平成29年度末  
に調査費用と工事費の合計387  
6万円を請求し、立入調査と審議  
が開かれている。請求は仲裁の判

断に基づいて相手方が支払うこと  
になるが、もし従わない場合は、  
地方裁判所へ申し立て、預金財産  
を差し押さえる。



足場で覆われた中学校南校舎

質問

子どもたちも真つ暗おほいさをさ  
れる中で、工事の音が出て授業に  
集中できない。教職員も手を取ら  
れており、大きな影響が出ている。  
町は被害者であり情報発信も必  
要ではないか。

町長

今回の事象はあってはならない  
ことであり、静寂な教育環境を壊  
す工事の発生に憤りを感じている。  
業者へは、仲裁の場で毅然と損  
害賠償の主張をする。保護者への  
説明もしっかりと進めていきたい。





松尾 憲 議員

一問一答方式

命の源泉の水道

更新への今後の計画は

A 更新の財源確保含め

平成69年まで期間必要

質問

命の源泉である水道。

昭和43年開始以降50年を経過しているが、耐用年数40年経過管路が17・6%、20年以上経過が44・2%となっている。この老朽管更新費用が70億円かかる。これは町年間予算分である。

こうした認識はいつごろからもっているのか、またこのことを住民にどう周知してきたのか。

上下水道課長

水道ビジョンを策定した平成26

年ごろから認識している。今まで詳細な情報は知らせていない。今後は計画的な更新計画の情報提供をしていく。



老朽水道管破裂事故(大阪北部地震)

質問

水道をはじめ社会資本整備には、後に必ず更新が必要となる。

10年・20年後の計画があつて当然である。第5次総合計画もあるが、今年度予算で改修の具体的な計画はどうだったか。

上下水道課長

平成29・30年度は鉛管の改修工事、31年度から残りの重要管路の耐震化を進めている。

耐震化は39年度、鉛管改修は41年度での完了を計画して、進めていく。

質問

本町の総延長107kmの水道管路更新に、一体何年かかるのか。

上下水道課長

現在耐震化を先行しており、全て更新するには平成69年まで必要である。

質問

膨大な金額と、40年後ということは大変な問題だ。行政運営上どう考えているのか。

町長

非常に重要な危機感をもっており、財源確保とあわせ全体のバランスも考え、進めていく。

交通不便地の解消は

いつごろになるか

A 2月にも御牧地域で

意見交換し考えていく

質問

以前よりテーマにしている地域公共交通について、公共交通網形

成計画の中間報告が出たが、一体いつになったら計画は動き出すのか。

事業建設部担当部長

網形成計画は、5年後を目途に計画している。そこをめざし、順次取り組んでいく。

質問

中間報告書では、その順次取り組むという計画が読み取れないが喫緊の課題は何か。

事業建設部担当部長

交通弱者対策と交通不便地の解消が中心である。

質問

西地域は交通不便地で、この地域に対する具体的な取組み策は。

事業建設部担当部長

御牧地区を中止とした交通不便地解消へ、地域の実情に応じた公共交通サービスを住民の皆さんと一緒につくりたい。

今年2月に御牧地区でワークショップを開き、意見交換をおこない、一緒に考えたい。



巽 悦子 議員

一問一答方式

**Q** 多子世帯奨励金支給など  
具体的な子育て支援は

**A** 高卒までの入院費助成は実施  
多子世帯対策はまだ

**質問**  
町長の公約でもある「35の宣言」に多子世帯奨励金の支給がある。具体的な子育て支援は。中学校給食費500円の補助、国保の子ども均等割減免、高校卒業までの通院費無料化で安心して生活できるが、支援はできないか。

**町長**

平成29年秋より高校卒業までの入院費助成は実施したが、多子世帯支援策は、今はまだ。  
給食費は、教育長の答弁（食

材費は負担願う」とおり。  
国保の減免などは、町民全体の負担という問題もあり、災害時など特別な状況に応じ、判断したい。

**Q** 公共交通で困っているのは  
なにか声を聞くべきでは

**A** 具体的に中に入って  
意見を聴くことはやる

**質問**  
御牧地域の方は、淀駅を利用される方が多い。調査はしたのか。

**新市街地整備室長**

駅からの人の動きも把握することとは大事なことの1つだ。調査が必要になれば実施を考える。

**質問**

通勤・通学でも京都市内への流出は宇治市に次いで高い数値だ。地域公共交通協議会に、京都市がなぜ入っていないのか。

**事業建設部長**

これからは京都市も入っても

らった中で、協議を進めたい。

**質問**

住民はじっくりとは待つておれない。一番困っているのは何かを、出向いて声を拾うべきでは。

**事業建設部担当部長**

具体的に中に入って意見を聴くことはやっていく。解消する手段など、住民の皆さんと検討したい。

**Q** 消防職員の兼務が多い  
定数見直しを

**A** 兼務は認識している  
消防広域化で見定めたい

**質問**

消防庁は、平成27年度「消防施設整備実態調査結果」を公表した。本町消防職員の算定人数は64名だが、現在36名。  
定員条例で40名と決めたのは。

**総務課長**

4月1日に43名から40名に改定。今後の高速道路網の複雑化・広域

化の状況も踏まえ算出した。

**質問**

消防庁は「救急隊員の適正な業務管理の推進について」（3月30日）の通知で、兼務を強調し、「業務管理の検討を」と述べている。

町「消防概要」（平成30年版）では、消防士長をはじめ兼務が多いが、身体は大丈夫か。働き方を調査し、定数を見直すべきでは。

**消防次長**

各市町村における施設・人員の整備率向上に向けた議論を進めていただくことを期待する。

**町長**

消防職員の兼務は認識している。消防広域化検討の中で見定めたい。



2018年救急車出動は1300回を超えた



# 日本共産党議員団

● 岐阜市（岐阜県） 10月30日

公共交通の先進地・岐阜市（人口41万215人）を視察した。

## ―地域公共交通網形成計画を策定

市は、公共交通を軸に都市機能が集約した「歩いて出かけられるまち」を実現するため、公共交通の指針を「幹線・支線・コミュニティバスが連携したバスネットワーク構築」などを主要施策とする「地域公共交通網形成計画」を平成27年3月に策定した。  
同年11月「みんなで創り守り育てる地域公共交通条例」を策定し、市・市民・交通事業者・事業者の役割を明確にした。

バス路線再編では、通勤・通学ルート、買物需要に対応した循環ルート運行を実施し、赤字は市が支援した。

市は、今後、市民手作りコミュニティバスの導入で、受益人口100%を目指していく。

今後、視察で学んだ交通政策を、行政にいかしていきたい。

● 松阪市（三重県） 10月31日

松阪市（人口16万4735人）

は、市民・商業者・各種団体・市などが「みんなで考え、みんなでつくる」まちづくりとして、平成25年に、「豪商のまち松阪」活き生きプラン」（5ヵ年）を作成した。

## ―おもてなしで千客万来

市は、松阪商人をイメージさせ、「おもてなしで千客万来の商店街」にする事業として、町屋型を基準に店舗の外観の改装・改修に補助をおこなった（平成26年～28年）。

平成29年からは、補助率と上限額を縮小させてはいるが、和風にこだわることなく商業環境の充実を目的に店舗・空き店舗の改装などの補助へと拡充した。

大型店舗にはない独自サービスの「おもてなしで千客万来」を『プラン』に明記した商業環境を守る事業は、今後の参考としたい。



市内の施行業者への発注が条件

12月21日 通年議会・議案の委員会付託など

# 議会の運営に関する最終報告提出

議会運営委員会

平成29年6月から新体制となった議会運営委員会は、議会の運営や通年議会（会期を1年とする通年会期）について協議をしてきた。

\* \* \*

### ◆ 先進議会を視察

当委員会は、諸課題を整理するにあたり、2年間で4市町議会の視察を実施した。

平成29年は、高山市議会（岐阜県）と大口町議会（愛知県）を視察。議員の政策提案や地域懇談会など議会の運営に関する課題の対応などを学んだ。

平成30年は、通年議会を先行実施している京都府下の精華町議会と亀岡市議会を視察。通年議会実施に至るまでの課題整理を学んだ。

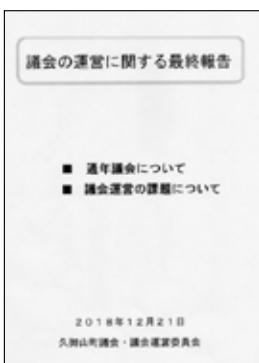
### ◆ 通年議会：時間をかけて合意へ

現在、全国926町村のなかで、「通年制の議会」（地方自治法）を実施しているのは50町村である。5月7日、久御山町議会は議員

全員協議会で、従来の定例会の運用を変えない「通年議会（法第102条2）」を、平成31年度以降に実施することを確認した。  
その後、当委員会では通年議会の実施にむけた課題など（16項目・30件）の協議を進め、12月13日には委員全員が合意をした。

### ◆ 議長に「報告書」を提出

12月21日に「議会の運営に関する最終報告」を議長に提出した。今後は実施にむけて、町との協議を進めることになる。



議会運営委員会での協議のまとめを議長に提出（12/21）

### ◆ 残る諸課題：次年度に継続

その他の議会の運営についての課題（12項目・17件）は、今後の継続事案とした。

# 久御山高校 2年生にインタビュー

議会を傍聴した感想を聞く

# 議会

## ってどんなところ？



### 3年目の議会傍聴

久御山高等学校では、18歳選挙権導入に伴い、平成28年度から主権者教育に取り組んでいます。

その一環として、2年生を中心に行政の仕組みをより深く知るため、町議会の一般質問を傍聴しました。

傍聴も今年度で3年目。これまで680名にのぼる生徒が、議場で交わされる議員と町長などのやり取りを真剣に見つめ、熱心に耳を傾けていました。

広報広聴委員会では、実際に傍聴した率直な感想や行政への関心など、生の声を聞くために、傍聴した高校生へのインタビューを企画しました。

### 7名の高校生が感じたこと

緊張した表情でインタビューに答えてくれた7名の生徒たち。

今回、おこなったインタビューでは、議会に対するイメージ、傍聴した感想、そして傍聴を終えて議員に対して興味をもったのかなど、生徒に話を聞きました。

今まで、教科書の中でしか見たことがなかったので、イメージがわかかった。

議場の様子では、普段から苦労され、疲れているようにも思えた。

将来、ほかにめざしている職業があるが、以前より興味がわいた。



2年1組  
にしかわ めい  
西川 芽似さん

質問や答弁が順序よくされていて、新鮮に感じた。普段、聞きなれない言葉が多く、わからない部分と、しっかり聞くことでわかる部分があり、よい経験になった。あの雰囲気じゃべることが自分にはむいていないと思ったが、傍聴して興味がわいた。



2年1組  
いとう にじほ  
伊藤 虹歩さん

議会を傍聴するまでイメージがわかかったが、裁判所のようなだった。普段、生活をしている裏では、議員さんが考え、話し合い、支えていることがわかった。社会の教科が苦手なので、議員になりたいとは思わないが、以前より興味がわいた。



2年4組  
きただ まい  
北田 麻衣さん

教科書の中でしか見たことがなくて、国会のようにざわざわしているイメージだったが、ヤジや話し声もなく静かだった。

質問や答弁では、議論が細部までなされていた。町議会を見ることができて、以前より興味がわいた。



2年2組  
まへだ たくと  
前多 天斗さん

傍聴席に座った時の空気がピリピリしていて、しっかり聞くという雰囲気を味わえた。以前から社会などの授業が好きで興味があった。

ニュースで議員さんの悪いことばかり出ている中、今まで議員の仕事がわからなかったが、傍聴してわかった。



2年5組  
ひらお けんじろう  
平尾 健二郎さん

久御山町出身なので、町の議員さんがどんなことを話しているのか興味があった。議員さんが、地域のことを考え、話し合っていることがわかり、良かった。

堅苦しい雰囲気が苦手なので、議員になりたいとは思わなかった。



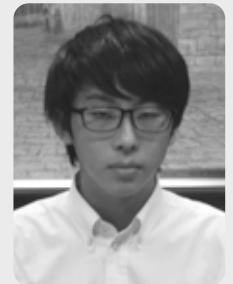
2年5組  
たにくち りゅうせい  
谷口 瑠征さん

主権者教育の一環として、3年目となる久御山町議会の傍聴。傍聴した多くの生徒が「自分たちがよりよい生活を送ることができるよう、議会の方は一生懸命考えてくださっていることを知った」と話していました。傍聴を通して、生徒たちが未来の社会のため、何か行動をおこなう必要はないとの実感を得る機会となりました。

### 久御山高校の先生からひと言

議場では他の人のヤジや話し声もなく、静かだった。

内容は難しかったが、質問や答弁の中で、災害のとき住民がちゃんと避難できているのかなど、細かい部分まで気配りされていた。もし議員になれば、私もしっかりと話せるのだろうかと思った。



2年7組  
おのだ たくと  
鬼田 拓和さん



# 昭和28年の水害わすれないで

## 佐山小PTAとの懇談・地域懇談会の報告

上記の写真は11月24日の懇談（コンベンションホール・役場）

### 町長に提出した地域懇談会「報告書」(抜粋)

- ・自治会加入…自治会や会員減少に歯止めが必要。対策は。
- ・施設の民間への売却を考えてはどうか。
- ・公共施設にはWi-Fiがない。災害時には必要だと思うが。
- ・KBSラジオ塔に使うお金…優先順位は考えなダメだ。
- ・避難場所と開設の判断基準を明確に。
- ・さやまこども園を避難場所にしてほしい。
- ・「災害に強いまちづくり」というが、手立ては。
- ・屋根にブルーシートを覆っている家がある。調査は。
- ・佐山小学校は災害時の避難場所だが、校舎が古く心配だ。
- ・佐山小学校・校門前通学時間の車通行規制への協力について。
- ・通学路の危険箇所の対処への返答はされているのか。
- ・ブロック塀が高い会社があるが、町は何か対策をしているのか。
- ・佐山小学校の西（桜並木）の水路側の安全柵の延長を。
- ・中学校校舎外壁タイルの落下後の工事時期はどうなったのか。
- ・学校給食にデザートをつけて欲しい。中学校に冷水器の増設を。
- ・中学校のバスケットゴールを、室外にも設置してほしい。
- ・こども園の運動会に0歳～2歳の出場がなかったが、復活を。
- ・東角小学校中校舎の若草学級の隣の男子トイレを洋式化にして。
- ・さやまこども園の第2園庭は芝生化を。
- ・ボール遊びができるところ（公園など）がない。
- ・街灯を増やしてほしい。
- ・豪雨対策…古川を氾濫させないために調整池をつくっては。
- ・水害対策・昭和28年の災害忘れないでほしい。
- ・川の中に中州ができている。樹木の伐採を。
- ・農地を生かしたまちづくりをしてほしい。
- ・御牧地域にはバスがない。通勤・通学他、往復の交通機関が必要ではないのか。交通機関がなければ過疎地となる。

意見・要望は大切な声です

久御山町議会運営委員会は、佐山小PTAとの懇談、ちよこつと懇談会、地域懇談会を10月末から11月にかけておこない、延べ25名の住民のみなさんと意見交換をすることができました。懇談では、町政について日ごろ気になっていることや学校、議会への質問など、疑問や意見・要望が出されました。懇談での意見などは、12月21日「報告書（全53項目）」として町長に提出しました。



10月31日・佐山小PTAのみなさんとの懇談（佐山小・図書室）



11月10日・2グループでの懇談（ゆうホール）



親しまれる議会をめざして

きて・みて・議会 &

ちよこつと懇談会 を開催しました

昨年11月3日、町民文化祭にあわせて、町議会主催の「きてみて議会&ちよこつと懇談会」を開催しましたので、その様子を報告します。

### きてみて議会に70名が参加

きてみて議会では、住民の皆さんに議会への理解を深めていただくため、本会議場や委員会室などを議員が案内しました。

当日70名の参加があり、小学生が半数を占めるなど、子どもたちが議会を身近に感じてもらえる見学会となりました。

### 身近な議会へ工夫が必要

参加者のアンケートで「また見学会に参加したい、本会議を傍聴したい」との意見が多かったことから、今後も議会だよりなどを活用して、身近な議会へ工夫が必要だと感じました。

### 住民とロビーでちよこつと懇談

同時開催した議員との「ちよこつと懇談会」は、見学会のあと、気軽に話せるようロビーを利用して、住民の皆さんから町政へのご意見をお聞きしました。  
主な意見を紹介します。

### 聞かせていただいた主な意見

- 災害時避難場所の増設
- 小学校の災害備蓄品の数量を公表してほしい

### 中央公園児童広場に、草が茂っている

ので、草刈りをしてほしい



ちよこつと懇談会

### 編集後記

今号には久御山高校生が町議会を傍聴（主権者教育）した記事を掲載していますので、ぜひお読みください。

さて、久御山町議会も通年議会へと一歩踏み出したところです。ご注目ください。（巽 悦子）

### 【広報広聴委員会】

委員長	信貴	太裕
副委員長	松本	義憲
委員	松尾	浩嗣
	田口	孝司
	内田	芳一
	岩田	悦子
	巽	
オブザーバー	戸川	和子
議長		



# 目指せ！世界に羽ばたく陶芸家

たいあきえ  
**田井昭江さん**  
(25歳・田井在住)



今回は、母校で講師をしながら、陶芸家という夢に向かって突き進む、田井昭江さんに直撃インタビューをしました。

## 天職との出会い

子どもの頃から、絵を描くこと

が大好きで、絵の世界に進もうと久御山中学校から京都市立銅駝美術工芸高等学校に進学。様々な科目を受講する中で、陶芸に出会いました。

高校卒業後は、精華大学芸術学部素材表現学科陶芸コースに進み、大学院でも学びました。

土に触れ、自分のイメージを作品として完成させることに魅了され、今では人生の糧となりました。現在は、母校銅駝美術工芸高等学校の非常勤講師として、教壇に立っています。

「生徒たちが、自分と同じ道を歩む中で、同じ所ですみずき、苦しむ気持ちがかかります。今までの経験を生かして指導することができています」

## 久御山発の陶芸家

普段は、自宅の工房で食器、ボンボニール（お菓子の器）などの作品作りに励みます。

陶芸の良さは、自分の理想や欲



しい物を思いどおりに作れること。「高校生の時から陶芸に携わっていますが、イメージどおりの形色合いに焼き上がった時が、一番うれしい」

自分が楽しいと思える道を突き進めば、目標は達成できるという熱い思いを胸に、将来の夢は、「展覧会を開いて多くの皆さんに作品を見てもらい、自分の作品を世に送り出すこと」

澄んだ目の見つめる先は、全国から世界へ。夢に向かって突き進みます。

(聞き手・広報広聴委員会)

表紙の「くみやま」を書いたのは山根光雅さんです。



久御山中学校3年生  
山根 光雅 さん

受験勉強で忙しい中、題字を書いてくれた山根さん。体を動かすのが好きで、中学校でテニス部に所属し、最後の大会まで頑張りました。うまくなるために、最初は週2回だった朝練習を、部員で相談して、毎日おこないました。最後の試合は、悔しい結果となりましたが、中学校生活で一番思い出に残っています。

